

しょうなんしんどう
都市計画道路 湘南新道 【**県道44号(伊勢原藤沢)**】

ひがししんど にししんど
東真土・西真土工区 街路整備事業

1 事業の目的

都市計画道路湘南新道は、平塚市四之宮の寒川町境(湘南銀河大橋の中間付近)から大磯方面へ至る道路で、平塚市域の東西方向における広域ネットワーク形成や国道1号の交通混雑緩和を図ることを目的とした**主要幹線道路(4車線)**です。

当事業箇所は、**県道44号(伊勢原藤沢)**として、既に完成供用済みの区間(L=約1,200m)に続く「**国道129号西側から県道606号(大島明石)までの延長約1,280m(東西の2工区)**」であり、平成23年(2011年)より、「**東真土工区**」の用地取得等に着手しています。

なお、この箇所は、「**埋蔵文化財包蔵地(※)**」であるため、発掘調査を実施する必要があり、工事着手までに長期の日時を要していますが、令和3年1月より、調査の完了した箇所から、工事に着手しました。

今後も引き続き、平塚市の関係部局等と連携しながら、用地取得や埋蔵文化財調査及び工事を推進し、早期の供用を目指していきます。

(※) その土地に、遺跡等の文化財が埋蔵されている場所のこと。「文化財保護法」では、土木工事等で現状のまま保存できない場合は、発掘調査を行い、記録保存することとなっています。

2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 東真土二丁目～西真土一丁目 地内
- 事業延長：L=約1,280m(東真土工区L=約670m、西真土工区L=約610m)
- 計画幅員：W=25m(標準部)～W=36m(国道129号交差部付近)
- 供用目標：用地取得及び埋蔵文化財調査の完了後、概ね5年以内の供用を目指します。(用地取得及び調査の完了後、順次、現道の拡幅工事に着手していきます。)

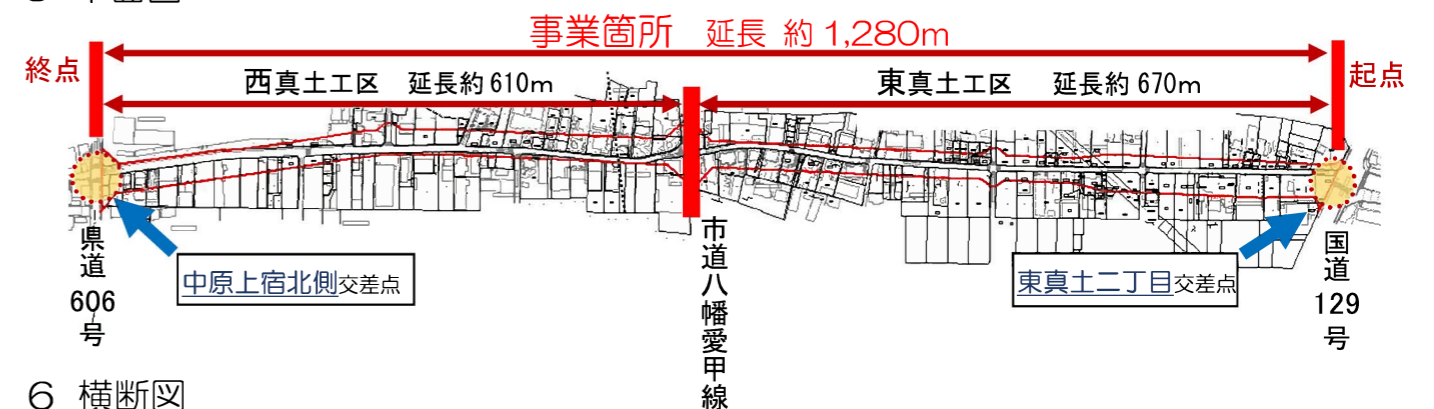
3 写真



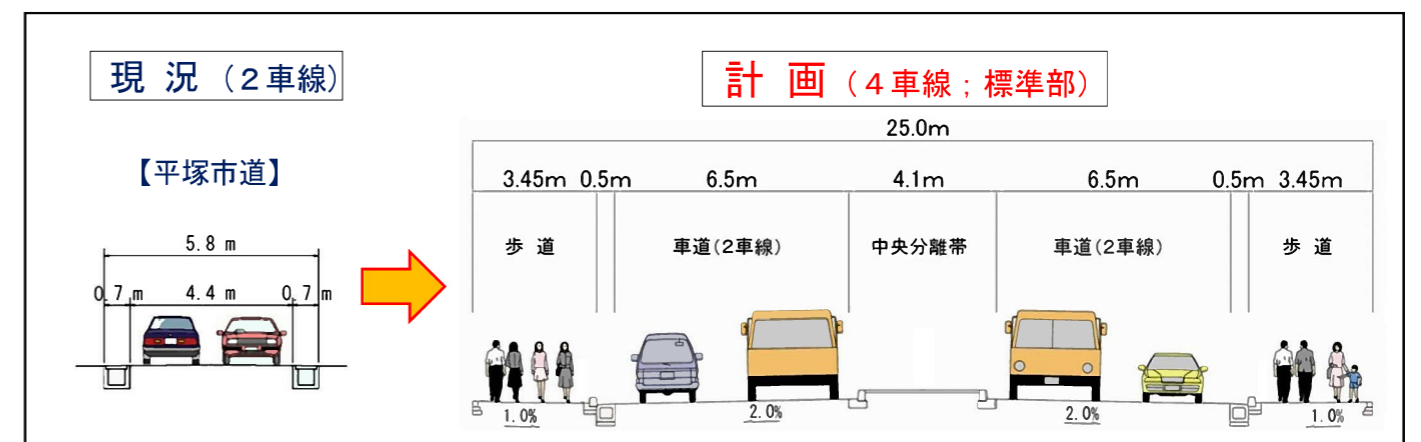
4 位置図



5 平面図



6 横断面図



はなみずがわばし 国道134号「花水川橋(上り線)」 橋梁架替事業

1 事業の目的

当事業箇所は、湘南地域の動脈で広域ネットワーク上も極めて重要な「国道134号」の金目川河口部に架かる橋梁です。

当橋は、1934年(昭和9年)の完成から約90年を経過する老朽橋で、これまで繰り返し補修し供用してきましたが、このたび、金目川河口部の河川改修事業(拡幅等)の目途が立ったため、長年の懸案であった「橋梁架替事業」に着手することとなりました。

この事業を進めるにあたっては、現況の2車線交通を切回すための仮橋の設置や河川内における工事制約等があることから、長期間の工事となります。

今後、詳細な設計業務や関係機関との調整等を進めていき、早ければ令和5年(2023年)秋頃から工事に着手していく予定です。

2 事業の概要

- 事業箇所 平塚市 虹ヶ浜～唐ヶ原 地内 (花水川橋交差点～唐ヶ原交差点)
- 橋長(計画延長) L= 約135m (金目川渡河部)
- 幅員(計画幅) W= 12.5m (片側歩道4.0m、車道+路肩7.5m)
- 供用目標 令和12年度(2030年度)
- 進捗状況 現在、工事着手に向けて調査中

3 写真



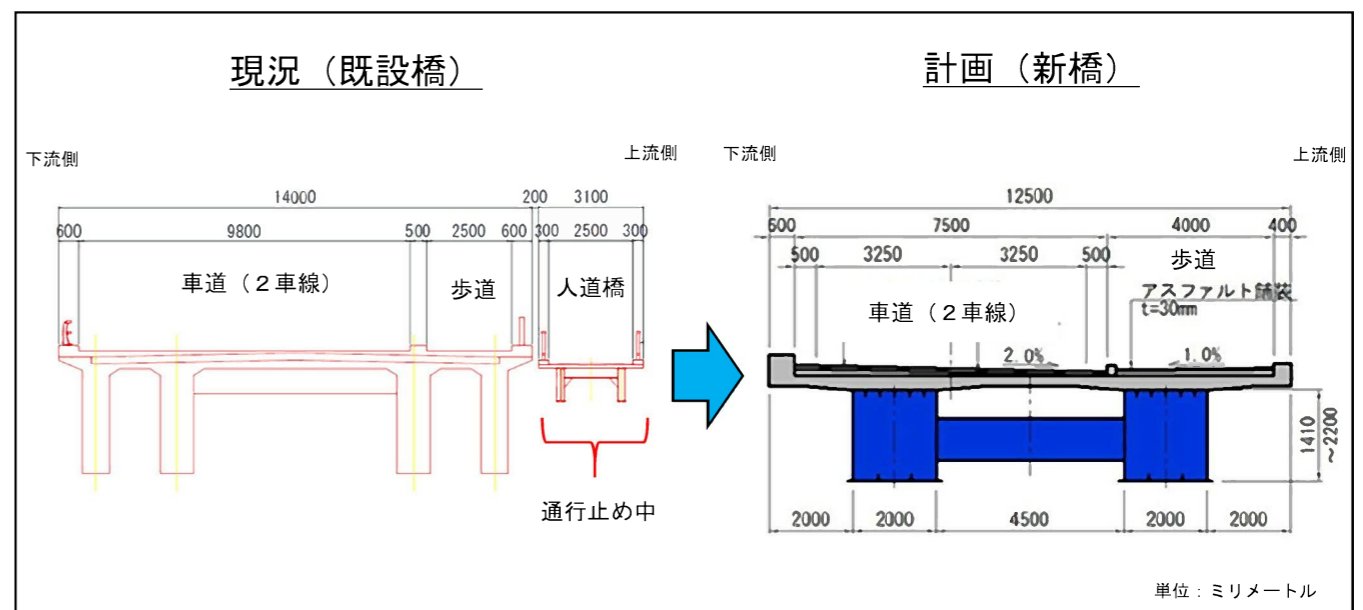
4 位置図



5 平面図(上空写真)



6 橋梁部の幅員構成



県道613号(曾屋鶴巻) 東海大北側 工区 道路整備事業

1 事業の目的

本路線は、県道62号との交差点から、秦野高校や東海大学等を経て、県道612号との延命地蔵尊前交差点に至る延長約4.1kmの幹線道路です。

当事業箇所は、歩行者等が多いにも関わらず、歩道が狭く危険な状況にあり、「東海大学北側交差点」では、平塚市道北金目真田線方面への右折レーンが無く、渋滞が頻繁に発生しているため、地元関係者等から早期の整備が強く求められていました。

こうした中、平成22年(2010年)に着手した用地取得等は概ね完了しており、現在、工実施に向けて、準備を進めているところです。

今後も引き続き、地元の平塚市や秦野市の関係部局と連携しながら、令和7年度(2025年度)の供用を目指し、工事等を進めていきます。

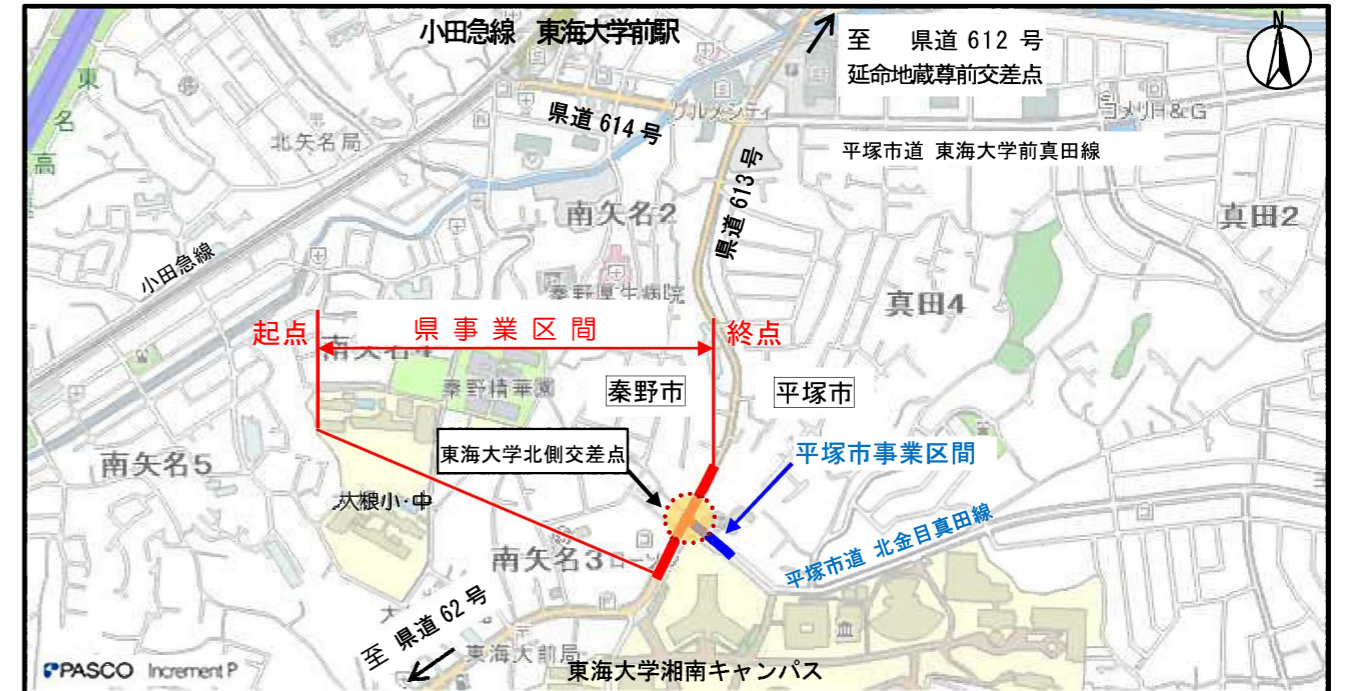
2 事業の概要

- 事業箇所：平塚市 真田・秦野市 南矢名 地内
- 事業延長：県事業区間 L=約200m、平塚市事業区間 L=約80m(交差点関連区間)
- 計画幅員：県事業区間 W=16m、平塚市事業区間 W=12~15m
- 供用目標：令和5年度(2023年度)

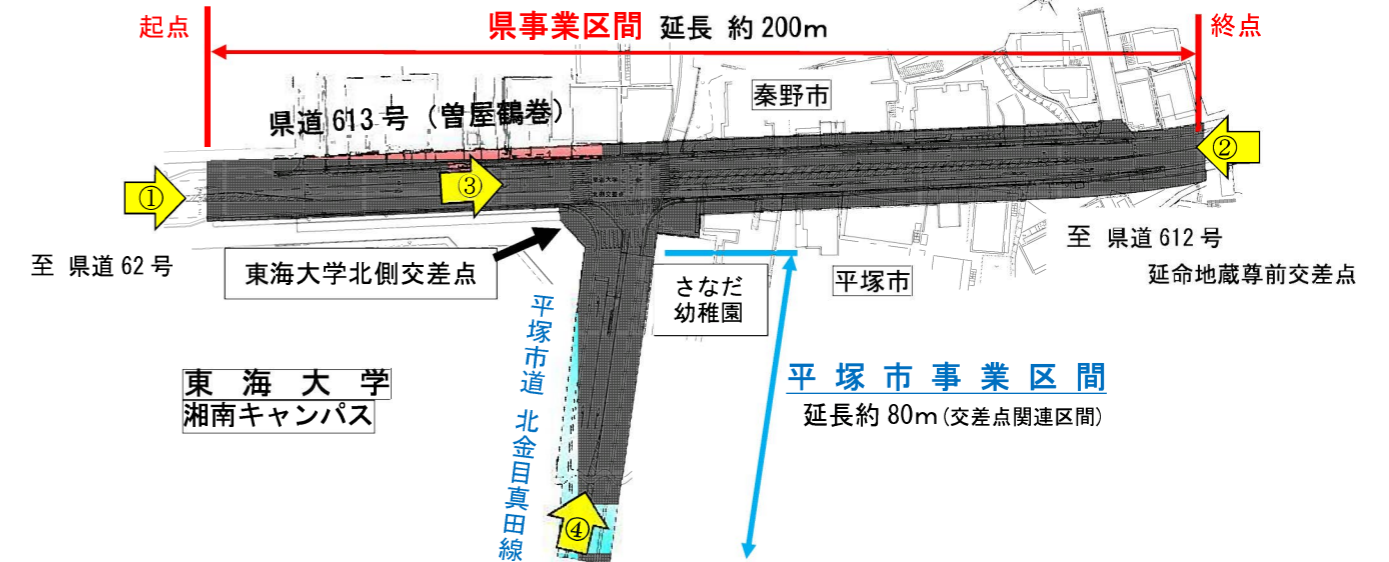
3 現況写真



4 位置図



5 平面図



6 標準横断図

